

令和 6 年6月 月例記者会見 市長原稿(議案関係)

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。それでは、はじめに6月6日開会の裾野市議会6月定例会に提出いたします議案につきまして、ご説明申し上げます。

提出いたします議案は、報告5件、承認5件、条例4件、補正予算 3 件、その他3件の合計20件であります。

それでは先ず、第 49 号議案 令和 6 年度裾野市一般会計補正予算(第3回)につきましてご説明申し上げます。

今回の補正予算は、既定の予算総額に 6 億 2,000 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 223 億 1,700 万円とするものです。

補正予算の主な内容は、デフレ完全脱却のための総合経済対策となる調整給付事業の実施、新型コロナウイルスワクチンの定期接種化への対応、土木費国庫補助金の内示に伴う事業内容の変更と財源の補正などです。

歳入の主なものは、国庫支出金では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を 5 億 3,441 万 9 千円の増額、繰入金では、財政調整基金繰入金を 1 億 1,438 万 6 千円増額、市債では、道路橋梁債を 3,270 万円増額するものです。

次に、歳出について、主な事業を挙げさせていただきます。

まず、総務費では、フロントヤード改革事業の「書かない窓口」の年度内実現に向けて窓口 DXSaaS を構築するため、ガバメントクラウドへの接続が必要であることから、ネットワーク管理事業費を増額します。

次に民生費では、国の交付金を活用し、定額減税可能額が減税前税額を上回ると見込まれる所得水準の方への調整給付事業、令和 6 年度より新たに住民税均等割非課税となる世帯や新たに住民税均等割のみ課税となる世帯へそれぞれ 10 万円を給付する、低所得者世帯支援給付事業、及び住民税均等割のみ課税世帯支援給付金給付事業などを行います。

次に衛生費では、令和 6 年 3 月 31 日をもって特例臨時接種としての扱いが終了し 4 月 1 日から定期予防接種としての取り扱いとなった新型コロナウイルスワクチンの予防接種事業

を実施します。なお、国の方針に基づき、接種時に満65歳以上の方などが対象となります。

次に土木費では、国庫補助金の内示を受け、社会資本整備総合交付金事業費、都市計画街路事業費や土地区画整理費など、土木費全体における事業の優先度を精査するとともに、基金繰入金などにより財源を確保し、事業を実施します。

次に教育費では、年々増加傾向にある不登校、不登校傾向、及び特別な支援が必要な児童、生徒への支援を行う教室において、指導やサポートの中心となる「スペシャル・サポーター」を配置し、学校での居場所づくりや学習支援等により、不登校の未然防止、及び不登校児童生徒の社会的自立に向けた、支援の強化、充実を行います。

補正予算以外の議案といたしまして、第45号議案 裾野市印鑑条例の一部を改正することにつきましては、印鑑登録証明書の窓口交付について、個人番号カードを利用した利用者操作端末機による申請方法を追加するため、本条例の一部を改正するものであります。

その他の補正予算、条例改正などに関する議案につきましては、お配りした資料をご覧ください。ただければと思います。